

2006年10月5日

環境問題への取り組みの一環として]

天然ガス自動車を営業車両として導入

ニッセイ同和損害保険(社長 :立山一郎)は、2006年10月、CO₂などの排出量が少なく環境に優しい天然ガス自動車を購入し、営業車両として利用を開始いたします。

1.購入の背景

当社では経営理念において「地球の幸せ」への挑戦」を掲げ、従来から、環境負荷削減に取り組んでまいりました。

近年、環境面で優れた性能を有する天然ガス自動車について、車両性能の改善とともに燃料を充填するスタンドの増加などインフラの整備が進んだことから、営業車両として十分な実用性があると判断し、当社の環境取り組みの一環として天然ガス自動車の導入を決定いたしました。

2.利用目的・状況等

- ・購入車両： トヨタ自動車製 天然ガス自動車「プロボックス」
- ・使用部門： 大阪企業営業第一部(大阪市北区西天満4-15-10(当社本社ビル内))
- ・利用状況等： 通常業務において走行する範囲内に天然ガススタンドが複数存在しており、ガス充填の負荷は特段なく、ガソリン車と変わらない状況となっています。
- ・その他： 今後、クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金を申請予定としています。(保険会社としては初めてとなります。)

3.天然ガス自動車について

天然ガス自動車は、従来車(ガソリン車)に比較してCO₂排出量が約2割少ないとされています。また、近年問題とされている窒素酸化物(NO_x)の排出量も少なく、ディーゼル車などで問題となっている粒子状物質(PM)はほぼゼロと、従来の自動車に比べて環境面で優れた性能があることが明らかとなっています。

加えて、燃料となる天然ガスの価格は、ガソリンより安価であり、供給も安定しているという実務面のメリットもあるとされています。